戦場を駈ける男（1942）

DESPERATE JOURNEY

メディア 映画
ジャンル アクション　戦争
製作国　アメリカ
色彩　B&W
時間　107分
初公開日 1952/03/21
公開情報 ＷＢ

【解説】

戦時中の戦意昂揚映画なのだが反ナチ・プロパガンダ色が希薄で、戦後ある程度経ってからの、ゲーム感覚横溢する戦争活劇の匂いがすでにしてあるのは、監督が無頼派Ｎｏ．１のウォルシュだからか。もうメッタやたらと調子よく、多少の辻褄の合わなさなど笑い飛ばしていく豪快さ。ポーランド国境のドイツの町でレジスタンスが捨て身の鉄路爆破に成功。その修復までの半日の間に、そこに集結して滞った物資を叩くべしと、米英豪加の混成部隊が新型機で爆撃に向かうが、高射砲に捕まり、あえなく不時着。フォーブス大尉（フリン）以下生存者５名は一旦は捕虜になりながらも、頓知と拳骨で急場をしのいで（いかめしい敵の少佐があまり間抜けなので人間的に思える。コメディでもないのに！）、逆に新型戦闘機工場の情報をつかんで、ドイツを横断しフランスに逃れようとする。その間に、どうせ生きて帰れるか分からない、と焼夷弾工場を爆破に寄ったり、ゲーリング元帥の専用車に乗り込んで豪遊したり、景気のいいことこの上ない。一応、最年少と最高齢の兵隊は死んでしまうのだが（定石どおり、抵抗派の娘と知り合って助けられる展開あり）、主演格はレーガンもケネディも、もちろんフリンも無事敵機を盗み出し、それに乗って国外脱出に成功。機上で、お次はジャップだ、と意気も上がるのである。いやはや、こんな単純な人たちにドイツも日本も負けてしまったのかーーと少し情けなくなるほど面白い戦争映画。

【クレジット】

監督	ラオール・ウォルシュ	Raoul Walsh
製作	ハル・Ｂ・ウォリス	Hal B. Wallis
脚本	アーサー・Ｔ・ホーマン	Arthur T. Horman
撮影	バート・グレノン	Bert Glennon
音楽	マックス・スタイナー	Max Steiner
出演	エロール・フリン	Errol Flynn
	ナンシー・コールマン	Nancy Coleman
	レイモンド・マッセイ	Raymond Massey
	ロナルド・レーガン	Ronald Reagan
	アラン・ヘイル	Alan Hale
	アーサー・ケネディ	Arthur Kennedy
	アルバート・バッサーマン	Albert Basserman

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.